

農林水産省登録 第19184号

BASF
We create chemistry

難防除害虫に効く

コテツ®フロアブル

Ⓡ＝BASF社の登録商標

■ 登録作物が多い
■ 幅広い害虫種に優れた効果
■ 同時防除に最適

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)または使用量	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	使用*回数	使用方法
りんご	キンモンホソガ、ナミハダニ、ハマキムシ類、ミノガ類	2000	200～700	収穫3日前まで	2回	散布
	ヨモギエダシャク、リンゴサビダニ	2000～4000				
もも	ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで		
ネクタリン	モモハモグリガ、カンザワハダニ、ナミハダニ、モモサビダニ、ウメシロカイガラムシ	2000		収穫7日前まで		
	ミカンキイロアザミウマ	2000～4000				
おうとう	ナミハダニ、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、オウトウショウジョウバエ、ウメシロカイガラムシ	2000				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ、ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ、ハマキムシ類	2000～4000		収穫60日前まで		
	ナミハダニ、カンザワハダニ、ハスモンヨトウ、トビイロトラガ、モンキクロノメイガ、ミノガ類、コガネムシ類、ブドウハモグリダニ	2000				
かき	ナミハダニ、カンザワハダニ			収穫14日前まで		
	カキノヘタムシガ、イラガ類、アザミウマ類、カキサビダニ	2000～4000				
なし	ナミハダニ、カンザワハダニ、ニセナシサビダニ	2000～3000		収穫前日まで	3回	
	ヨモギエダシャク、チャノキイロアザミウマ	2000				
かんきつ	ヨモギエダシャク、ハスモンヨトウ、リュウキュウミカンサビダニ、カネタタキ、スグリゾウムシ	2000～4000			2回	
	アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)、チャノホコリダニ、ミカンサビダニ	2000～6000				
いちじく	ヒラズハナアザミウマ、カンザワハダニ、ショウジョウバエ類	2000		収穫14日前まで		
小粒核果類	オウトウハダニ、ウメシロカイガラムシ、イラガ類					
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ、コガネムシ類					
マンゴー	チャノキイロアザミウマ					
ゴレンシ	カンザワハダニ					
ブルーベリー	イラガ類、オウトウショウジョウバエ			収穫前日まで	3回	
あずき	ハダニ類、ノメイガ類		100～300	収穫3日前まで		
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげんを除く)	ハダニ類			収穫前日まで	2回	
えだまめ	ハダニ類、コフキゾウムシ					
さやいんげん	ハダニ類、アズキノメイガ					
実えんどう さやえんどう	ハダニ類、ハスモンヨトウ					
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類、ウリノメイガ、ウリハムシ				3回	
うり類(漬物用)	ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類				2回	
すいか	ミナミキイロアザミウマ	4000				
	ハダニ類、オオタバコガ、ウリノメイガ	2000				
にがうり かぼちゃ(日本かぼちゃ)	ミナミキイロアザミウマ					
トマト ミニトマト	オオタバコガ、ミカンキイロアザミウマ、ナミハダニ、トマトサビダニ、トマトキバガ				3回	
なす	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、チャノホコリダニ、ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、テントウムシダマシ類				4回	
ピーマン とうがらし類(ししとうを除く)	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、ハダニ類				2回	
ししとう	ヒラズハナアザミウマ	4000				
キャベツ	コナガ、アオムシ、タマナギンウワバ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	2000				
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ			収穫3日前まで		
茎ブロッコリー	アオムシ			収穫前日まで		
カリフラワー	コナガ			収穫3日前まで		
ザーサイ しゅんぎく	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで		
非結球メキャベツ					1回	
メキャベツ コリアンダー(葉) やなぎたで				収穫7日前まで	2回	
なばな類						
エンサイ				収穫3日前まで		
はくさい	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、カブラハバチ			収穫前日まで		
非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メキャベツを除く)	コナガ			収穫14日前まで	1回	
チンゲンサイ				収穫7日前まで		
非結球はくさい	アオムシ、コナガ			収穫14日前まで	2回	
こまつな	アオムシ、コナガ、ハクサイダニ			収穫3日前まで	1回	
だいこん	アオムシ、コナガ、ダイコンサルハムシ			収穫21日前まで		

*本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

裏面へ続く

■適用害虫と使用方法 ＊本剤及びクロルフェナピルを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

総合版

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	使用＊回数	使用方法
かぶ	コナガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ	2000	100～300	収穫前日まで	2回	散布
みょうが(花穂)	ハダニ類					＊1散布
みょうが(茎葉)				＊2花穂の収穫前日まで		散布
いちご	ハダニ類、ハスモンヨトウ、シクラメンホコリダニ、ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで		
ねぎ	シロイチモジヨトウ、ヒョウタンゾウムシ類、ネギハモグリバエ、ネギコガ			収穫7日前まで		
オクラ	ハスモンヨトウ、オオタバコガ			収穫前日まで		
レタス	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ					
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫7日前まで	1回	
あしたば	ウドノメイガ					
やまのいも	カンザワハダニ、ナガイモコガ			収穫前日まで	2回	
やまのいも(むかご)				収穫3日前まで		
かんしょ	ハスモンヨトウ、ハダニ類、ムツスジアシナガゾウムシ			収穫前日まで		
	ヨツモンカメノコハムシ、シロイチモジヨトウ	2000～4000				
	ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ	16	1.6			＊4散布
はすいも(葉柄)	カンザワハダニ、ハスモンヨトウ	2000	100～300			散布
さといも				収穫7日前まで		
さといも(葉柄)				収穫3日前まで		
アスパラガス	ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ジュウシホシクビナガハムシ、ヨトウムシ		100～500	収穫前日まで		
ふき	ハスモンヨトウ、ハダニ類		100～300	収穫7日前まで		
ふき(ふきのとう)				収穫90日前まで		
てんさい	ヨトウムシ、ハダニ類、カメノコハムシ			収穫7日前まで		
セルリー	ヨトウムシ			収穫14日前まで		
にんじん	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒョウタンゾウムシ類			収穫前日まで		
みつば	ハスモンヨトウ			＊3収穫14日前まで	1回	
みしまさいこ				収穫21日前まで	2回	
つるむらさき				収穫7日前まで	1回	
しょうが				収穫前日まで	2回	
		32	3.2			＊4散布
葉ごぼう	ハダニ類、ヨトウムシ	2000	100～300	収穫7日前まで	3回	散布
すいぜんじな				収穫前日まで	2回	
よもぎ	ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで	1回	
葉にんにく	ハダニ類			収穫14日前まで		
つわぶき					2回	
とうき						
せんきゅう				収穫前日まで		
たらのき				収穫90日前まで		
はまぼうふう(葉)				親株養成期 但し、収穫90日前まで	3回	
うど	シクラメンホコリダニ			根株養成期 但し、収穫75日前まで	2回	
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4000～6000		2葉期まで 但し、収穫14日前まで	1回	
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミウマ	4000	200～700	収穫7日前まで	2回	
とうもろこし ヤングコーン 飼料用とうもろこし(子実)	ハダニ類、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ	2000	100～300	収穫前日まで		散布
食用ブリムラ	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ			収穫14日前まで		
食用金魚草 食用なでしこ 食用エキザカム 食用せんにちこう 食用トレニア 食用パンジー	ミカンキイロアザミウマ、ヨトウムシ類、ハダニ類					
食用ミニバラ				収穫3日前まで		
なんてん(葉)	アザミウマ類			収穫14日前まで		
茶	チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノナガサビダニ、チャノホコリダニ、シャクトリムシ類、チャノコカクモンハマキ、マダラカサハラハムシ、チャトゲコナジラミ		200～400	摘採7日前まで		
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヨトウムシ類、ハダニ類、オオタバコガ、アワダチソウグンバイ		100～300	収穫3日前まで		
きく(葉)				収穫7日前まで		
きく			150～300	発生初期		
ストック	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
花き類・観葉植物(きく、ストックを除く)	ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ					
しきみ	クスアナアキゾウムシ		200～700			
		60	6～21			＊4散布
アザレア	チャノホコリダニ	2000	100～300			散布
みかん(温室・ガラス室等密閉できる場所)	ミカンキイロアザミウマ	＊5 300mℓ/10a	10	収穫前日まで		常温煙霧
ぶどう(温室・ガラス室等密閉できる場所)	チャノキイロアザミウマ	＊5 150mℓ/10a	6	収穫14日前まで		

＊1 花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する
＊2 花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで　＊3 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで
＊4 無人航空機による散布　＊5 使用量

水産動植物（魚類・甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

★ 使用前にはラベルをよく読んでください。　★ ラベルの記載以外には使用しないでください。　★ 小児の手の届くところには置かないでください。
★ 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。　★ 防除日誌を記帳しましょう。

コテツ® フロアブル

有効成分：クロルフェナピル…10.0%　　安全性：医薬用外劇物

殺虫剤分類　13

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、以下のことに注意してください。
  ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
  ②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
- ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調製した後にボルドー液と混合してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。
- きゅうり・なす・はくさい・だいこん・非結球あぶらな科葉菜類・なばなおよびセルリーの幼苗期に使用すると薬害を生じることがあるので注意してください。
- みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- ピーマン・とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。
- かき（刀根早生など）の着色期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- すいかに使用する場合、葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- にがうりの幼苗期には薬害を生じるので、定植前には使用しないでください。定植後のにがうりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。
- 西洋かぼちゃ（黒皮栗・青皮栗・えびす・雪化粧・みやこ・黒皮甘栗・栗味・栗マロン・芳香等）には薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
- ばら・食用ミニバラに本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- カーネーションへの散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- シクラメンに使用する場合、新葉に薬害を生じる場合があるので、薬害の出ないことを事前確認してから散布してください。
- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 周辺の作物にかかると薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
  ①散布機種の散布基準に従って実施してください。
  ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  ④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
  ⑤散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
  ・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
  ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
  ・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

※この資料は2026年11月現在の知見に基づき作成したものです。

BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
0120-014-660　https://crop-protection.basf.co.jp/

詳細やSDSはWEBでご覧いただけます

2800001 8
202611